



レポート等の課題ために「 について」の本が読みたいとき、皆さんはどのように本を探しますか？今回は、本学図書館を出発点とした、本の検索の基本的な流れを紹介します。

まず本学図書館を調べる

新潟医療福祉大学図書館 OPAC <http://library.nuhw.ac.jp/>

本学図書館が所蔵している資料を探し出すことができます。館内の検索専用端末からも検索可能です。

他の図書館の OPAC やデータベースを調べる

NDL - OPAC (国立国会図書館蔵書検索) <http://opac.ndl.go.jp/index.html>

国立国会図書館所蔵の和・洋の図書、雑誌・新聞などの検索ができます。国立国会図書館には日本で出版された本の大半が納本されているので、和書をほとんど網羅することができます。

NACSIS - Webcat (国立情報学研究所総合目録データベース) <http://webcat.nii.ac.jp/>

全国の大学図書館等が所蔵する図書・雑誌の総合目録データベース。タイトル・著者名などから検索できます。どこの大学図書館が何を所蔵しているのかも調べられます。

以上の URL は、図書館 HP <http://www.nuhw.ac.jp/~library/> にリンクされています。

* テーマがはっきり決まっていないとき

NACSIS - Webcat Plus (国立情報学研究所図書情報ナビゲータ) <http://webcatplus.nii.ac.jp/>

テーマが漠然としているときの検索に便利なシステムです。一つのキーワードから連想し、そのキーワードに関連した和図書を検索してくれます。

目的の本が見つかったら、それがどこの図書館にあるか調べる

近隣図書館の OPAC から探します。

NACSIS - Webcat で検索したものは、検索した時点で所蔵館が表示されます。

* 近隣図書館の OPAC

新潟県立図書館 OPAC <http://www.pref-lib.niigata.niigata.jp/>

新潟市立図書館 OPAC <http://www.ncl-unet.ocn.ne.jp/serch.html>

新潟大学附属図書館 OPAC <http://www.lib.niigata-u.ac.jp/>

目的の本が近隣の図書館にある場合は、直接そこへ行き、借りる

また、遠方の図書館にある場合は、相互利用サービスを通じて取寄せる

相互利用サービスとは、図書館同士で資料や複写文献をやりとりすることです。図書館カウンターに申し込んでください。

目的の本が1冊見つかったら、そこに載っている引用文献・参考文献を辿って、次の資料を探していく「芋づる方式」も有効です。どうしても目的の本が見つからない場合は、図書館カウンターまでお気軽にどうぞ。